

<報道関係各位>

2023年2月16日

ギリアド・サイエンシズ株式会社

当資料は、米国ギリアド・サイエンシズ社が、2023年2月2日（現地時間）に発表したプレスリリース（<https://www.gilead.com/news-and-press/press-room>）を邦訳し、参考資料として提供するものです。正式な言語は英語であり、その内容ならびに解釈については英語が優先いたします。なお本文中には日本における未承認薬、未承認適応症に関する情報が含まれています。

ギリアド、2022年第4四半期、通期業績を発表

- ベクルリーを除く対前年比製品売上高は、2022年通期で8%増–
- ビクトルビの対前年比売上高は、2022年通期で20%増–
- オンコロジー領域の対前年比売上高は、2022年通期で71%増–

ギリアド・サイエンシズ（本社：米カリフォルニア州フォスターシティ、ナスダック：GILD、以下ギリアド）は2月2日、2022年第4四半期と通期の業績を発表しました。

ギリアドの会長兼最高経営責任者（CEO）ダニエル・オデイ（Daniel O'day）は、「2022年は、HCV治療薬の売上がピークに達した2015年以来、ギリアドのベースビジネスの年間成長率が最も高くなりました。この成長回復は、当社のポートフォリオ全体での一貫した質の高い商業的および臨床的な活動の遂行によるものです。HIV領域では、ビクトルビが上市以来、四半期ごとに米国でのシェアを拡大し、当社の長時間作用型HIV治療薬のlenacapavirも初めて規制当局による承認を受けました。オンコロジー領域は、Trodelvy および細胞治療薬の需要が引き続き増加し、通年で大きく成長しました。2023年もこの勢いを足掛かりにし、世界中の人々やコミュニティへの影響がさらに拡大することを期待しています」と述べています。

2022年第4四半期の業績

- 2022年第4四半期の収益は、2021年同期比2%増の74億ドルで、主にオンコロジー、HIVおよびC型肝炎ウイルス（HCV）領域製品の売上増によるものですが、ベクルリー®（レムデシビル）の売上減により一部相殺されました。
- 希薄化後1株当たり利益（EPS）は、2021年同期の0.30ドルに対し、2022年第4四半期は1.30ドルに増加しました。非GAAPベースの希薄化後EPSは、2021年同期の0.69ドルに対し、2022年第4四半期は1.67ドルに増加しました。この増加は主に、2021年

第4四半期に発生した訴訟和解金12億5000万ドル、およびArcus Bioscience社（Arcus）との共同事業によるオプトイン費用6億2500万ドルの2つの費用が2022年には発生しなかったことによるものです。しかしながら、2022年第4四半期は、Jounce Therapeutics社（Jounce）からのGS-1811買収に関する費用、MacroGenics社（MacroGenics）との提携、Everest Medicines社（Everest）とのTrodelvy提携契約の終了、およびR&D費用増の影響を受けました。

- ・ 2022年12月31日現在、ギリアドの現金、現金同等物および有価証券は76億ドルで、2021年12月31日現在の78億ドルから減少しています。
- ・ 2022年第4四半期の営業キャッシュフローは26億ドルでした。
- ・ 2022年第4四半期中、ギリアドは9億1600ドルの現金配当を支払い、7億9100万ドルを活用し、普通株式を買い戻しました。

2022年第4四半期の製品売上

2022年第4四半期の製品総売上高は、2021年同期比2%増の73億ドルでした。2022年第4四半期のベクルリーを除く製品売上高は、2021年同期比9%増の63億ドルとなりました。これは主に、HIVやオンコロジー、およびHCV領域製品の売上増によるものです。

2022年第4四半期のHIV製品の売上高は、需要増および有利な価格設定の動きを反映し、2021年同期比5%増の48億ドルとなりましたが、米国のチャネル在庫変動により一部相殺されました。

- ・ ビクタルビ®（ビクテグラビル50 mg／エムトリシタビン200 mg（FTC）／テノホビルアラフェナミド25 mg錠（TAF））の2022年第4四半期の売上高は、2021年同期比15%増の29億ドルでしたが、これは主に需要増および有利な価格設定の動きによるもので、チャネル在庫の減少により一部相殺されました。
- ・ デシコビ®（FTC 200 mg／TAF 25 mg）の2022年第4四半期の売上高は、2021年同期比13%増の5億3700万ドルとなりましたが、これは主に有利な価格設定の動きと需要増によるもので、チャネル在庫の減少により一部相殺されました。

2022年第4四半期のHCV治療薬の売上高は、2021年同期比12%増の4億3900万ドルとなりました。これは主に、米国での新規投与開始患者数増加および有利な価格設定の動きによるものですが、欧州での新規投与開始患者数減少により一部相殺されました。

B型肝炎ウイルス（HBV）とD型肝炎ウイルス（HDV）治療薬の2022年第4四半期の売上高は、2021年同期比4%減の2億5500万ドルとなりました。ベムリディ®（TAF 25 mg）の2022年第4四半期の売上高は、主に需要減や米国以外の価格設定の動きの影響により、2021年同期

比2%減となりました。Hepcludex® (bulevirtide) の2022年第4四半期の売上高は、欧州全土での上市活動継続により、1300万ドルとなりました。

細胞治療薬の2022年第4四半期の売上高は、2021年同期比75%増の4億1900万ドルとなりました。

- ・ イエスカルタ® (axicabtagene ciloleucel) の2022年第4四半期売上高は、3億3700万ドルに増加しました。これは主に、米国と欧州における再発または難治性 (R/R) の大細胞型B細胞リンパ腫 (LBCL) に対する需要増によるものです。
- ・ Tecartus® (brexucabtagene autoleucel) の2022年第4四半期の売上高は、8200万ドルに増加しました。これは、米国と欧州における成人のR/R前駆B細胞急性リンパ性白血病 (ALL) やマントル細胞リンパ腫 (MCL) に対する需要増によるものです。

2022年第4四半期のTrodelvy® (sacituzumab govitecan-hziy) の売上高は、2021年同期比65%増の1億9500万ドルでした。これは、米国と欧州において、転移性トリプルネガティブ乳がん (TNBC) の治療薬として継続的に採用されていることを反映しています。

ベクルリーの2022年第4四半期の売上高は、2021年同期比26%減の10億ドルとなりました。これは主に、COVID-19関連の入院率低下によるものです。ベクルリーの売上は、一般的に新型コロナウイルス関連の数値、感染の重症度と入院率、ワクチンと代替薬利用の可能性、採用、および有効性に影響を受けます。

2022年第4四半期の製品売上総利益率、営業費用、および税金

- ・ 2022年第4四半期の製品売上総利益率は2021年同期の63.3%に対し、81.0%でした。2022年第4四半期の非GAAPベースの製品売上総利益率は、2021年同期の70.5%に対し、86.8%でした。この上昇は主に、2021年第4四半期に計上されていた訴訟和解金が今期は計上されなかったことによるものです。
- ・ 2022年第4四半期の研究開発 (R&D) 費は、2021年同期の14億ドル⁽¹⁾に対し、15億ドルでした。2022年第4四半期の非GAAPベースのR&D費は、2021年同期の13億ドル⁽¹⁾に対し、15億ドルでした。この増加は主に、オンコロジー領域での臨床活動の増加によるものです。
- ・ 2022年第4四半期の買収によるインプロセス研究開発 (IPR&D) 費は、2021年同期の6億6900万ドル⁽¹⁾に対し、1億5800万ドルでした。今期の費用は主に、JounceからのGS-1811取得、MacroGenicsへの前払金に関連するものです。2021年第4四半期の費用は主に、Arcusとの共同事業によるオプトイン費用に関連するものです。
- ・ 2022年第4四半期の販売、一般管理 (SG&A) 費は2021年同期の17億ドルに対し、20億ドルでした。2022年第4四半期の非GAAPベースのSG&A費は、2021年同期の16

億ドルに対し、20億ドルでした。SG&A費の増加は主に、かつて特定のアジア地域におけるTrodelvyの広域商業化および開発権を提供していたEverestとのTrodelvy提携契約終了に関連する費用4億600万ドルによるものです。ギリアドはこれまでの契約を終了し、これらの地域におけるTrodelvyの権利を再取得しました。

- ・ 2022年第4四半期の実効税率（ETR）および非GAAPベースのETRは、2021年同期のそれぞれ50.5%、32.2%に対し、それぞれ19.6%、16.8%でした。このETRの低下は、2021年第4四半期に計上されていた個別税に関する費用が今期は計上されなかったことによるものです。

2022年度通期の業績

- ・ 2022年度通期の総収益は、2021年度から横ばいの273億ドルとなりました。これはオンコロジーおよびHIV領域の売上増、およびベクルリーの売上減による相殺によるものです。
- ・ 希薄化後EPSは、2021年度の4.93ドルに対し、2022年度通期では3.64ドルに減少しました。この減少は、2022年第1四半期に計上した、2020年にImmunomedicsからギリアドが取得した資産に関するIPR&D減損費用のほか、EverestとのTrodelvy提携契約終了やR&D費用増によるものです。また、2021年第4四半期に計上されていた訴訟和解金が今期は計上されなかったことにより、一部相殺されました。
- ・ 非GAAPベースの希薄化後EPSは、2021年度の7.18ドルに対し、2022年度通期では1%増の7.26ドルとなりました。この増加は、主に2021年第4四半期に計上されていた訴訟和解金が今期は計上されなかったことによるものです。また、主にEverestとのTrodelvy提携契約終了やR&D費用増に関連するSG&A費の増加により、一部相殺されました。

2022年度通期の製品販売実績

2022年度通期の製品売上高の合計は、2021年度から横ばいの270億ドルとなりました。これはHIV製品、細胞治療薬、およびTrodelvyの売上増によるもので、ベクルリーの売上減により相殺されました。2022年度通期のベクルリーを除く製品売上高の合計は、2021年度と比較して、8%増の231億ドルとなりました。これは主に、HIV製品、細胞治療薬、およびTrodelvyの売上増によるものです。

2022年度通期のHIV製品の売上高は、前年度比5%増の172億ドルとなりました。これは主に、需要増と有利な価格設定の動きによるもので、チャネル在庫変動と為替レートの不利な変動により一部相殺されました。

- ・ ビクトルビの2022年度通期の売上高は、前年度比20%増の104億ドルとなりました。

た。これは主に需要増と有利な価格変動の動きによるもので、在庫変動により一部相殺されました。

- ・ デシコビの2022年度通期の売上高は、前年度比10%増の19億ドルとなりました。主に有利な価格変動の動きと需要増によるもので、在庫変動により一部相殺されました。

HCV治療薬の2022年度通期の売上高は、前年度比4%減の18億ドルとなりました。これは主に、為替レートの不利な変動、新規投与開始患者数減少、および不利な価格変動の動きによるものです。

HBVおよびHDV治療薬の2022年度通期の売上高は、前年度比2%増の9億8800万ドルとなりました。これは主に、米国におけるベムリディの需要増によるものです。

細胞治療薬の2022年度通期の売上高は、前年度比68%増の15億ドルとなりました。これは主に、イエスカルタのR/R LBCL、およびTecartusのR/R ALLやMCLに対する需要増によるものです。

Trodelvyの2022年度通期の売上高は、前年度比79%増の6億8000万ドルとなりました。これは主に、米国および欧州において、転移性TNBCに対する治療薬として、継続的に採用されていることによるものです。

ベクルリーの2022年度通期の売上高は、前年度比30%減の39億ドルとなりました。これは主に、COVID-19関連の入院率低下によるものです。

2022年度通期 製品売上総利益率、営業費用および税金

- ・ 製品売上総利益率は、2021年度の75.6%に対し、2022年度通期では79.0%でした。非GAAPベースの製品売上総利益率は、2021年度の83.2%に対し、2022年度通期では86.6%でした。製品売上総利益率の上昇は、主に2021年第4四半期に計上されていた訴訟和解金が今年度は計上されなかったことによるもので、その他の前年度比の変動により若干相殺されました。
- ・ 2022年度通期のR&D費は、2021年度の46億ドル⁽¹⁾に対し、50億ドルでした。2022年度通期の非GAAPベースのR&D費は、2021年度の45億ドル⁽¹⁾に対し、50億ドルでした。R&D費の増加は主に、オンコロジー領域の臨床活動増やインフレ率上昇を反映しています。

- ・ 2022年度通期の買収によるIPR&D費は、2021年度の9億3900万ドル⁽¹⁾に対し、9億4400万ドルでした。
- ・ 2022年度通期のSG&A費は、2021年度の52億ドルに対し、57億ドルでした。2022年度通期の非GAAPベースのSG&A費は、2021年度の50億ドルに対し、56億ドルでした。SG&A費の増加は主に、EverestとのTrodelvy提携契約終了に関連する費用4億600万ドル、Trodelvyおよび細胞治療薬を中心とした販促・マーケティングへの投資増のほか、企業活動費増、インフレ率上昇によるものです。GAAPベースのSG&A費は、前年度と比較して、2022年度のギリアド財団への寄付額減少により、若干相殺されました。
- ・ 2022年度通期のETRおよび非GAAPベースのETRは、2021年度のそれぞれ25.1%および20.4%に対し、それぞれ21.5%および19.3%でした。ETRの低下は主に、所得税と州税の管轄区の組み合わせにおける有益な変化によるものです。

ガイダンス、および今後の見通し

ギリアドの2023年通期ガイダンスは以下の通りです。

- ・ 製品の総売上高は260億ドル～265億ドル。
- ・ ベクルリーを除く製品の総売上高は240億ドル～245億ドル。
- ・ ベクルリーの総売上高は約20億ドル。ただし、感染拡大の頻度および程度によって大きく変動する可能性が高いと予想されるため、ガイダンスは引き続き、必要に応じて四半期ごとに更新予定。
- ・ 一株当たり利益は5.30ドル～5.70ドル。
- ・ 非GAAPベースの一株当たり利益は6.60ドル～7.00ドル。

2023年のガイダンスに関するGAAPベースの財務情報と非GAAPベースの財務情報の調整は、添付の表に記載されています。また、後述の「将来の見通しに関する記述」もご参照ください。財務ガイダンスは、新型コロナウイルス感染症パンデミックの期間や規模に関する不確実性など、多くのリスクや不確実性を伴います。

前回の四半期報告書以降の主な更新情報

ウイルス性疾患

- ・ Sunlenca (lenacapavir) が、他の抗レトロウイルス薬との併用で、複数の治療歴があり、かつ多剤耐性を有する成人HIV-1陽性者に対するHIV-1感染症の治療薬とし

⁽¹⁾ 2022年第2四半期より、要約連結損益計算書において、規制当局承認前の開発品にかかるマイルストーンおよびその他の協力費に関連する費用は、研究開発費から買収後のIPR&D費用に表示変更されました。この変更により、財務諸表でIPR&Dプロジェクトの取得にかかった総費用が分かりやすくなると考えています。GAAPベースと非GAAPベース共に過去の報告についてもこの変更を反映し、2021年第4四半期と2021年度通期の研究開発費はそれぞれ6億6900万ドルと7億6200万ドル、2022年3月期第1四半期の研究開発費は800万ドル減少しました。

て、米国食品医薬品局（FDA）の承認を取得しました。

- ・ ビクトルビの新たな低用量錠（ビクテグラビル30 mg/FTC 120 mg/TAF 15 mg）、および2歳以上、体重14 kg以上のウイルス学的に抑制された小児に対するHIV治療薬としての適応拡大について、欧州委員会（EC）の承認を取得しました。
- ・ ベムリディが、代償性肝疾患を伴う12歳以上の小児慢性HBV患者さんの治療薬として、FDAの承認を取得しました。

オンコロジー

- ・ 治療歴のあるHR陽性HER2陰性転移性乳がん（mBC）の成人患者さんの治療薬として、欧州医薬品庁（EMA）がTrodelvyのタイプII変更承認申請を受理しました。
- ・ 2022年サンアントニオ乳がんシンポジウム2022（SABCS 2022）において、HR陽性HER2陰性mBC患者さんを対象としたTrodelvyの第III相TROPiCS-02試験の事後解析を発表しました。本解析では、Trodelvyについて、治療歴のあるHR陽性HER2陰性mBC患者さんにおいて、Trop-2発現レベルに関わらず、一貫した有効性を示し、標準化学療法と比較して、無増悪生存期間（PFS）、全生存期間（OS）および客観的奏効率（OSS）の改善が認められました。Trodelvyの安全性プロファイルは過去の試験と一貫性を示しており、この患者集団において、安全性に関する新たな懸念は確認されませんでした。
- ・ イエスカルタの日本における製造販売権を、2023年に第一三共株式会社（第一三共）からギリアド・サイエンシズ株式会社へ承継することを発表しました。
- ・ イエスカルタが、R/R LBCLに対する初期治療薬として、日本の厚生労働省から承認を取得しました。
- ・ 多発性骨髄腫治療薬として開発中の後期臨床資産であるCART-ddBMCAの共同開発および共同販売のため、ギリアドの子会社KiteとArcellx社（Arcellx）が戦略的提携契約を締結しました。
- ・ Tmunity Therapeutics社（Tmunity）の買収が合意に達しました。Tmunityは臨床段階を担当する民間バイオテクノロジー企業で、抗腫瘍活性を強化するさまざまなCAR-T細胞に適用される可能性のある「強化」CAR-T技術プラットフォームや迅速な製造プロセスなどを含む、前臨床および臨床プログラムをKiteに提供します。この契約は、2023年第1四半期に締結される予定です。
- ・ イエスカルタとTecartusの長期データとリアルワールド解析を、2022年米国血液学会（ASH）で発表しました。その結果によると、リアルワールド解析では、R/R LBCLに対してイエスカルタを投与した患者さんにおいて、静脈-静脈時間の短縮がアウトカム改善に関連することが示されました。さらに、R/R低悪性度非ホジキンリンパ腫患者さんを対象としたZUMA-5の3年間の追跡調査解析では、52%の患者さんにおいて、奏効の持続が見られたほか、PFSの延長が認められました。R/R B細胞

ALL患者さんを対象としたSCHOLAR-3試験と比較したZUMA-3の2年間の追跡解析、およびR/R MCL患者さんを対象としたZUMA-2試験から更新された3年間の結果を含む、Tecartusに関する3つの追跡解析も発表しました。

- 米国臨床腫瘍学会（ASCO）の月次総会において、Arcusとともに、第II相ARC-7試験の第4回中間解析に関する肯定的なデータを発表しました。本試験では、一次治療を受けている転移性PD-L1高発現NSCLC患者さんを対象に、domvanalimab+zimberelimab（2剤併用）とdomvanalimab+zimberelimab+etrumadenant（3剤併用）の併用療法と、zimberelimabの単剤療法を比較評価しています。2剤併用および3剤併用のいずれにおいても、zimberelimab単剤療法と比較して、臨床的意義のあるPFS中央値の改善が見られ、疾患進行または死亡のリスクは2剤併用群で45%、3剤併用群で35%低下しました。
- 固形がん治療薬としてJounceが開発した抗CCR 8抗体であるGS-1811の残りの権利を取得しました。

炎症領域

- EVOQ Therapeutics社（EVOQ）との提携およびライセンス契約を発表しました。EVOQが保有する関節リウマチおよびループス治療用NanoDisc技術の発展を図ります。

企業展開

- 企業責任に対するギリアドの継続的な取り組みを反映し、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックスにおいて、最もサステナブルな製薬企業の1つとして認定されました。
- 米国連邦最高裁判所が、Juno Therapeutics社のJuno対Kiteの訴訟における訴えを棄却したことを発表しました。これにより、この特許に関する紛争は事実上終了しました。

本プレスリリースでは、一部の金額および割合が四捨五入されているため、係数の総和が一致していない、再計算で数字が合わない場合があります。

電話会議

ギリアドは、太平洋時間2月2日午後1:30に業績説明のための電話会議を開催します。

ウェブでの生配信は<http://investors.gilead.com>でご覧いただけます。また、アーカイブはwww.gilead.comで1年間ご覧いただけます。

非GAAPベースの財務情報

本資料に記載されている情報は、非GAAPと明記されていない限り、米国では一般に公正妥当と認められる会計原則（GAAP）に基づいて作成されています。経営陣は、非GAAP情報をギリアドのGAAP財務情報と併せて検討することにより、投資家に有益な情報を提供できると考えています。これは、経営陣がこのような情報を経営、予算管理、および財務計画を目的として社内で使用しているためです。非GAAP情報は、包括的な会計規則に基づいて作成されたものではなく、GAAPに基づいて報告されたギリアドの業績の理解を補完するためにのみ使用されるべきものです。一般的に、非GAAP財務情報には、買収無形資産償却費、棚卸資産のステップアップ費用、その他通常では想定できない項目やギリアドの事業の基本的な事業状況を反映していない項目を含む取得関連費用、保有株式等の公正価値評価、税法やガイドラインの変更に伴う個別の税金費用や便益などは含まれていません。ギリアドは非GAAP財務情報から買収した無形資産の償却費を一貫して除外していますが、経営陣は、このような無形資産が買収の一部として計上され、継続的な収益創出に貢献していることを投資家に理解してもらうことが重要であると考えています。非GAAP評価指標は、同業他社では異なる定義や計算方法を採用している場合があります。非GAAPベースの財務指標と最も直接的に比較できるGAAP基準の財務指標との比較表は、下記の表をご参照ください。

米国証券取引委員会（SEC）からの最近の業界への通達に従い、ギリアドでは2022年第1四半期より、非GAAPベースの財務指標において、買収によるIPR&D費用を除外していません。前期の非GAAP財務指標は、新しい発表方法に合わせて改定されました。

ギリアド・サイエンシズについて

ギリアド・サイエンシズは、すべての人々にとってのより健康な世界の実現を目指し、30年以上にわたり医療の革新を追求し、飛躍的な進歩を遂げてきたバイオ医薬品企業です。当社は、HIV、ウイルス性肝炎、がんなどの生命を脅かす疾患の予防と治療のため、革新的な医薬品の開発に取り組んでいます。カリフォルニア州フォスターシティに本社を置き、世界35カ国以上で事業を行っています。

将来予測に関する記述

このプレスリリースに含まれる記述のうち、実績ベースではない記述は、1995年の米国私募証券訴訟改革法の意味するところの「将来予測に関する記述」に該当します。ギリアドは、将来予測に関する記述には実際の結果と大きく異なる結果をもたらす可能性のある特定のリスクや不確実性が含まれていることに対して、注意を促しています。これらのリスクや不確実性には以下のようなものがあります。新型コロナ感染症がギリアドの事業、財

務状況、業績に与える影響。将来のベクルリーの販売量や時期の不確実性、ベクルリーのグローバル供給や販売管理をギリアドが効果的に行うことができない可能性を含む、新型コロナウイルス感染症治療薬としてのベクルリーの開発、製造、販売に関するリスクや不確実性。新型コロナウイルス感染症による潜在的な収益への悪影響、ベクルリーからの潜在的な収益を含む、ギリアドが2023年通期の業績予測を達成させる能力。ギリアドが企業戦略に掲げた長期的目標や戦略的優先事項を進展させる能力。ギリアドが抗ウイルス薬、抗がん薬、その他の治療薬プログラムの収益を加速または維持する能力。Arcellex、第一三共、EVOQ、Jounce、Tmunityとの提携を含め、ギリアドが買収、共同研究、ライセンス契約の潜在的な利益を実現する能力。ギリアドが事業戦略の一環として、適切な取引を特定する能力、政府機関または規制当局がそのような取引の完了に対する承認を遅らせたり、拒否したりする可能性を含め、ギリアドが取引を適時に完了できない、あるいはまったく完了できないリスク、ギリアドの製品および治療薬候補の特許保護および推定される独占権喪失、ギリアドが現在想定されている期間内に臨床試験を開始、進行、完了させる能力、Trodelvy、Tecartus、イエスカルタ、domvanalimab、etrumadenant、zimberelimabなどの進行中の臨床試験や追加の臨床試験から好ましくない結果が出る可能性、臨床試験から得られる安全性および有効性データにより、ギリアドまたは戦略的パートナーの治療薬候補のさらなる開発が認可されないリスク。ギリアドが現在想定されている期間内に新しい治療薬候補の製造販売承認申請または適応拡大の承認申請を行う能力。ギリアドが、治療歴のあるHR陽性HER2陰性の転移性成人乳がん患者さんの治療薬としてのTrodelvyのEC承認を含め、規制当局からの製造販売承認を適時に取得する能力および、これらの承認に使用上重大な制限が課されるリスク。ギリアド製品の商業化を成功させる能力。ギリアド製品の製造およびサプライチェーンに潜在的な混乱が生じるリスク。これには、Kiteが製造能力を高めること、製品を適時に製造および納入すること、または当該製品の需要を満たすために十分な供給量を生産することができないリスクが含まれます。販売奨励金やその他の割引など政府機関および第三者機関からの価格設定および償還の圧力を受ける可能性。保険支払者が想定以上に高い割引率のセグメントに移行する可能性。ギリアド製品の後発医薬品の上市による市場シェア低下および製品価格下落。医師や患者さんが他の治療法と比較してギリアド製品の優位性を認識せず、ビクタルビ、Sunlenca、ベムリディ、イエスカルタなどの処方躊躇するリスク。年次報告書（Form 10-K）、四半期報告書（Form 10-Q）、臨時報告書（Form 8-K）など、ギリアドが米国証券取引委員会（SEC）に提出する報告書に時折記載されているその他のリスク。さらにギリアドは、資産、負債、収益、費用の報告額ならびに関連する開示内容に影響する試算や判断を行っています。ギリアドは、過去の経験、その他市場特有のさまざまな仮定やその他の関連する仮定に基づいて、状況に応じて合理的だと考えられる試算を行っています。また、その試算結果は、他の情報源からは容易には明らかにならない資産および負債の簿価を判断する際のよりどころとなっています。ギリアドが現在把握しておらず、将来予測に関する記述に記載されている事柄に影響

を与える可能性のあるその他の要因が存在する可能性があり、実際の結果がこれらの試算と著しく異なる可能性があります。また、2022年12月31日を期末とする四半期の結果は必ずしも将来の期間の業績を示すものではありません。ギリアドは、これらまたはその他のリスク、不確実性、要因の詳細についてプレスリリースや年次報告書（Form 10-K）、四半期報告書（Form 10-Q）、SECに提出しているその他の開示書類で説明しています。ギリアドは将来予測に関する記述に関し、1995年の米国私募証券訴訟改革法セーフハーバー条項の遵守を主張します。

将来予測に関する記述は、将来の業績を保証するものではありませんので、将来予測に関する記述に全面的に依拠しないよう注意してください。将来予測に関する記述は全て、ギリアドが現在入手できる情報に基づいており、法による定めのない限り、ギリアドは将来予測に関する記述を更新または補足する義務を負いません。将来予測に関する記述は、あくまでも公表日現在、あるいは記述に明記した日付における予測です。

ギリアドは、以下を含め、その事業に使用する各種商標、著作権および商号を所有し、権利を有しています。GILEAD®, GILEAD SCIENCES®, KITE®, AMBISOME®, ATRIPLA®, BIKTARVY®, CAYSTON®, COMPLERA®, DESCOVY®, PrEPを適応したDESCOVY®, EMTRIVA®, EPCLUSA®, EVIPLERA®, GENVOYA®, HARVONI®, HEPCLUDEX®, HEPSERA®, JYSELECA®, LETAIRIS®, ODEFSEY®, RANEXA®, SOVALDI®, STRIBILD®, SUNLENCA®, TECARTUS®, TRODELVY®, TRUVADA®, PrEPを適応したTRUVADA®, TYBOST®, VEKLURY®, VEMLIDY®, VIREAD®, VOSEVI®, YESCARTA®およびZYDELIG®

本リリースでは、他社の商標、サービスマーク、商号についても言及しています。

ギリアド
要約連結損益計算書
(未監査)

	3カ月決算日 12月31日		12カ月決算日 12月31日	
(1株あたりの金額を除き、単位100万)	2022	2021	2022	2021
収入：				
製品売上	\$ 7,333	\$ 7,160	\$ 26,982	\$ 27,008
ロイヤルティ、契約収入などの収入	56	84	299	297
総収入	7,389	7,244	27,281	27,305
費用・経費：				
売上原価	1,396	2,627	5,657	6,601
研究開発費	1,548	1,358	4,977	4,601
買収したインプロセス研究開発費	158	669	944	939
インプロセス研究開発費減損	—	—	2,700	—
販売費・一般管理費	2,020	1,650	5,673	5,246
費用・経費総額	5,122	6,304	19,951	17,387
営業利益	2,267	940	7,330	9,918
支払利息	(227)	(238)	(935)	(1,001)
その他の収益（費用）、純額	(9)	57	(581)	(639)
税引き前利益	2,031	759	5,814	8,278
法人税	(398)	(383)	(1,248)	(2,077)
純利益	1,633	376	4,566	6,201
非支配持分に帰属する純損失	7	6	26	24
ギリアドに帰属する純利益	\$ 1,640	\$ 382	\$ 4,592	\$ 6,225
ギリアドに帰属する1株当たり利益－基本	\$ 1.31	\$ 0.30	\$ 3.66	\$ 4.96
1株当たりの計算に使用された株式数－基本	1,252	1,256	1,255	1,256
ギリアドに帰属する1株当たり利益－希薄化後	\$ 1.30	\$ 0.30	\$ 3.64	\$ 4.93
1株当たりの計算に使用された株式数－希薄化後	1,264	1,262	1,262	1,262
1株当たりの現金配当金	\$ 0.73	\$ 0.71	\$ 2.92	\$ 2.84
収入に占める研究開発費の割合	20.9%	18.7%	18.2%	16.9%
収入に占める販売費・一般管理費の割合	27.3%	22.8%	20.8%	19.2%

ギリアド
総収入の概要
(未監査)

(パーセンテージを除き、単位100万)	3カ月決算日			12カ月決算日		
	12月31日			12月31日		
	2022	2021	Change	2022	2021	Change
製品売上：						
HIV	\$ 4,772	\$ 4,538	5%	\$ 17,194	\$ 16,315	5%
HCV	439	393	12%	1,810	1,881	(4)%
HBV/HDV	255	265	(4)%	988	969	2%
細胞治療関連	419	239	75%	1,459	871	68%
Trodelvy	195	118	65%	680	380	79%
その他	252	250	1%	946	1,027	(8)%
製品売上合計（ベクルリー除く）	6,333	5,803	9%	23,077	21,443	8%
ベクルリー	1,000	1,357	(26)%	3,905	5,565	(30)%
製品売上合計	7,333	7,160	2%	26,982	27,008	—%
ロイヤルティ、契約収入などの収入	56	84	(33)%	299	297	1%
総収入	\$ 7,389	\$ 7,244	2%	\$ 27,281	\$ 27,305	—%

ギリアド
非GAAPベースの財務情報⁽¹⁾
(未監査)

(パーセンテージを除き、単位100万)	3カ月決算日			12カ月決算日		
	12月31日			12月31日		
	2022	2021	Change	2022	2021	Change
非GAAP：						
売上原価	\$ 968	\$ 2,111	(54)%	\$ 3,602	\$ 4,538	(21) %
研究開発費	\$ 1,544	\$ 1,315	17%	\$ 4,968	\$ 4,464	11%
買収したインプロセス研究開発費	\$ 158	\$ 669	(76)%	\$ 944	\$ 939	1%
販売費・一般管理費	\$ 2,020	\$ 1,642	23%	\$ 5,587	\$ 4,974	12%
その他の収益（費用）、純額	\$ 52	\$ —	NM	\$ 77	\$ (29)	NM
希薄化後1株当たり利益	\$ 1.67	\$ 0.69	141%	\$ 7.26	\$ 7.18	1%
製品粗利益			1628			
	86.8%	70.5%	bps	86.6%	83.2%	345 bps
収入に占める研究開発費の割合	20.9%	18.2%	274 bps	18.2%	16.3%	186 bps
収入に占める販売費・一般管理費の割合			1573			
	27.3%	22.7%	468 bps	20.5%	18.2%	226 bps
営業利益率			-1540			
	36.5%	20.8%	bps	44.6%	45.4%	-75 bps
実効税率			-1540			
	16.8%	32.2%	bps	19.3%	20.4%	-110 bps

NM – 非適用

⁽¹⁾ 非GAAPベースの財務指標に関するさらなる開示については、上記の非GAAPベースの財務情報の項を参照してください。GAAPベースと非GAAPベースの財務情報の調整は、15～18ページの表に記載されています。米国証券取引委員会（SEC）からの最近の業界への通達に従い、当社では2022年第1四半期より、非GAAPベースの財務指標において、買収によるIPR&D費用を除外していません。前期の非GAAP財務指標は、新しい発表方法に合わせて改定されました。

ギリアド
GAAPベースと非GAAPベースの財務情報の調整
(未監査)

(パーセンテージおよび1株当たりの金額を除き、 単位100万)	3カ月決算日		12カ月決算日	
	12月31日		12月31日	
	2022	2021	2022	2021
売上原価の調整：				
GAAPベースの売上原価	\$ 1,396	\$ 2,627	\$ 5,657	\$ 6,601
買収関連 - 取得無形資産および在庫ステップアップ費用の償却費	(428)	(516)	(2,013)	(2,063)
その他 ⁽¹⁾	—	—	(42)	—
非GAAPベースの売上原価	\$ 968	\$ 2,111	\$ 3,602	\$ 4,538
製品粗利益の調整：				
GAAPベースの製品粗利益	81.0%	63.3%	79.0%	75.6%
買収関連 - 取得無形資産および在庫ステップアップ費用の償却費	5.8%	7.2%	7.5%	7.6%
その他 ⁽¹⁾	—%	—%	0.2%	—%
非GAAPベースの製品粗利益	86.8%	70.5%	86.6%	83.2%
研究開発費の調整：				
GAAPベースの研究開発費	\$ 1,548	\$ 1,358	\$ 4,977	\$ 4,601
買収関連 - 取得無形資産および在庫ステップアップ費用の償却費	—	(42)	—	(109)
買収関連 - その他の費用 ⁽²⁾	(1)	—	13	(14)
その他 ⁽¹⁾	(4)	(1)	(22)	(14)
非GAAPベースの研究開発費	\$ 1,544	\$ 1,315	\$ 4,968	\$ 4,464
IPR&D減損費用の調整：				
GAAPベースのIPR&D減損費用	\$ —	\$ —	\$ 2,700	\$ —
IPR&D減損費用	—	—	(2,700)	—
非GAAPベースのIPR&D減損費用	\$ —	\$ —	\$ —	\$ —
販売費・一般管理費の調整：				
GAAPベースの販売費・一般管理費	\$ 2,020	\$ 1,650	\$ 5,673	\$ 5,246
買収関連 - その他の費用 ⁽²⁾	(1)	(3)	(3)	(45)
その他 ⁽¹⁾	1	(5)	(83)	(227)
非GAAPベースの販売費・一般管理費	\$ 2,020	\$ 1,642	\$ 5,587	\$ 4,974

ギリアド
GAAPベースと非GAAPベースの財務情報の調整 – (続き)
(未監査)

(パーセンテージおよび1株当たりの金額を除き、 単位100万)	3カ月決算日		12カ月決算日	
	12月31日		12月31日	
	2022	2021	2022	2021
営業利益の調整：				
GAAPベースの営業利益	\$ 2,267	\$ 940	\$ 7,330	\$ 9,918
買収関連 – 取得無形資産および在庫ステップアップ費用の償却費	428	558	2,013	2,172
買収関連 – その他の費用 ⁽²⁾	2	3	(10)	59
IPR&D減損費用	—	—	2,700	—
その他 ⁽¹⁾	2	6	147	241
非GAAPベースの営業利益	<u>\$ 2,699</u>	<u>\$ 1,507</u>	<u>\$ 12,180</u>	<u>\$ 12,390</u>
営業利益率の調整：				
GAAPベースの営業利益率	30.7%	13.0%	26.9%	36.3%
買収関連 – 取得無形資産および在庫ステップアップ費用の償却費	5.8%	7.7%	7.4%	8.0%
買収関連 – その他の費用 ⁽²⁾	—%	0.1%	—%	0.2%
IPR&D減損費用	—%	—%	9.9%	—%
その他 ⁽¹⁾	—%	—%	0.5%	0.9%
非GAAPベースの営業利益率	<u>36.5%</u>	<u>20.8%</u>	<u>44.6%</u>	<u>45.4%</u>
その他収入（支出）、純額の調整：				
GAAPベースのその他収入（支出）、純額	\$ (9)	\$ 57	\$ (581)	\$ (639)
有価証券の含み損（益）、純額	61	(57)	657	610
非GAAPベースのその他収入（支出）、純額	<u>\$ 52</u>	<u>\$ —</u>	<u>\$ 77</u>	<u>\$ (29)</u>
実効税率の調整：				
GAAPベースの実効税率	19.6%	50.5%	21.5%	25.1%
上記非GAAPベース調整額および個別の関連する税金調整額の税効果 ⁽³⁾	(2.8)%	(18.3)%	(2.1)%	(4.7)%
非GAAPベースの実効税率	<u>16.8%</u>	<u>32.2%</u>	<u>19.3%</u>	<u>20.4%</u>

ギリアド
GAAPベースと非GAAPベースの財務情報の調整 – (続き)
(未監査)

(パーセンテージおよび1株当たりの金額を除き、 単位100万)	3カ月決算日 12月31日		12カ月決算日 12月31日	
	2022	2021	2022	2021
ギリアドに帰属する純利益の調整：				
GAAPベースのギリアドに帰属する純利益	\$ 1,640	\$ 382	\$ 4,592	\$ 6,225
買収関連 – 取得無形資産および在庫ステップ				
アップ費用の償却費	346	449	1,610	1,750
買収関連 – その他の費用 ⁽²⁾	1	—	(12)	46
IPR&D減損費用	—	—	2,057	—
その他 ⁽¹⁾	2	3	106	146
有価証券の含み損 (益)、純額	60	(56)	630	631
個別の関連する税金費用 ⁽³⁾	57	88	175	267
非GAAPベースのギリアドに帰属する純利益	<u>\$ 2,106</u>	<u>\$ 866</u>	<u>\$ 9,158</u>	<u>\$ 9,065</u>
希薄化後1株当たり利益の調整：				
GAAPベースの希薄化後1株当たり利益	\$ 1.30	\$ 0.30	\$ 3.64	\$ 4.93
買収関連 – 取得無形資産および在庫ステップ				
アップ費用の償却費	0.27	0.36	1.28	1.39
買収関連 – その他の費用 ⁽²⁾	—	—	(0.01)	0.04
IPR&D減損費用	—	—	1.63	—
その他 ⁽¹⁾	—	—	0.08	0.11
有価証券の含み損 (益)、純額	0.05	(0.04)	0.50	0.50
個別の関連する税金費用 ⁽³⁾	0.05	0.07	0.14	0.21
非GAAPベースの希薄化後1株当たり利益	<u>\$ 1.67</u>	<u>\$ 0.69</u>	<u>\$ 7.26</u>	<u>\$ 7.18</u>
非GAAPベースの調整額の概要：				
売上原価の調整額	\$ 428	\$ 516	\$ 2,055	\$ 2,063
研究開発費の調整額	4	43	9	137
IPR&D減損費用の調整額	—	—	2,700	—
販売費・一般管理費の調整額	—	8	86	272
非GAAPベースのその他収入 (支出)、純額の 税引き前調整額合計	432	567	4,850	2,472
その他収入 (支出)、純額の調整額	61	(57)	657	610

ギリアド
GAAPベースと非GAAPベースの財務情報の調整 – (続き)
(未監査)

(パーセンテージおよび1株当たりの金額を除き、 単位100万)	3カ月決算日 12月31日		12カ月決算日 12月31日	
	2022	2021	2022	2021
非GAAPベースの税引き前調整額合計	493	510	5,507	3,082
上記の非GAAPベースの調整額の税効果	(84)	(114)	(1,116)	(509)
個別の関連する税金費用 ⁽³⁾	57	88	175	267
非GAAPベースの税引き後調整額合計	<u>\$ 466</u>	<u>\$ 484</u>	<u>\$ 4,566</u>	<u>\$ 2,840</u>

- ⁽¹⁾ 売上原価および研究開発費の調整額には、2022年第1四半期および2021年第2四半期中の様々な再編費用が含まれます。販売費・一般管理費の調整額には、2022年および2021年の第2四半期のカリフォルニアを拠点とする非営利組織であるギリアド財団への寄付が含まれます。
- ⁽²⁾ 調整には、従業員関連費用、偶発対価公正価値調整、およびギリアドによるMiroBio, Ltd.、Immunomedics, Inc.、MYR GmbHの買収に伴うその他費用が含まれます。
- ⁽³⁾ 主に取得した無形資産、および海外の子会社からアイルランド、および米国に移管された無形資産に関連する個別、および関連する繰延税金費用または利益を示します。

ギリアド
2023年度GAAPベースと非GAAPベースの通期ガイダンスの調整⁽¹⁾
(未監査)

(パーセンテージおよび1株当たりの金額を除き、単位100万)	提供日 2023年2月2日
GAAPベースと非GAAPベースの予測製品粗利益の調整：	
GAAPベースの予測製品粗利益	79.0%
買収関連費用	~ 7%
非GAAPベースの予測製品粗利益	86.0%
GAAPベースと非GAAPベースの予測営業利益の調整：	
GAAPベースの予測営業利益	\$9,200 - \$9,800
買収関連費用	~ 1,800
非GAAPベースの予測営業利益	\$11,000 - \$11,600
GAAPベースと非GAAPベースの予測実効税率の調整：	
GAAPベースの予測実効税率	~ 22%
個別の関連する税務調整額、上記調整額の税効果	(~ 2%)
非GAAPベースの予測実効税率	~ 20%
GAAPベースと非GAAPベースの予測希薄化後1株当たり利益の調整：	
GAAPベースの予測希薄化後1株当たり利益	\$5.30 - \$5.70
買収関連費用および税金調整額	~ 1.30
非GAAPベースの予測希薄化後1株当たり利益	\$6.60 - \$7.00

⁽¹⁾ 2023年度の非GAAPベースの通期ガイダンスには、実際の今期業績に対する非GAAPベースの調整額のほか、今後の無形資産の償却などの発生済みの事象に関連する既知の将来的影響の調整額、主に取得した無形資産および海外の子会社からアイルランドおよび米国に移管された無形資産に関連する個別および関連する繰延税費用または利益の将来的影響の調整額が含まれます。通期ガイダンスでは、将来発生する可能性のある (i) 買収または事業展開のための取引、(ii) 有価証券の公正価値評価額、および (iii) 法律やガイドラインの変更に伴う個別の税務関連の費用や便益の影響を除外しています。ギリアドはそのような金額を予測することができません。

ギリアド
要約連結貸借対照表
(未監査)

(単位100万)	12月31日	
	2022	2021年
資産		
現金、現金同等物および有価証券	\$ 7,630	\$ 7,829
売掛金（純額）	4,777	4,493
棚卸資産	2,820	2,734
有形固定資産（純額）	5,475	5,121
無形資産（純額）	28,894	33,455
のれん	8,314	8,332
その他資産	5,261	5,988
総資産	<u>\$ 63,171</u>	<u>\$ 67,952</u>
負債および株主資本		
流動負債	\$ 11,237	\$ 11,610
長期負債	30,725	35,278
株主資本 ⁽¹⁾	21,209	21,064
負債および株主資本合計	<u>\$ 63,171</u>	<u>\$ 67,952</u>

⁽¹⁾ 2022年12月31日および2021年12月31日時点の発行済社外流通普通株式は、それぞれ1,247株、1,254株です。

ギリアド
キャッシュフロー情報の要約
(未監査)

(単位100万)	3カ月決算日		12カ月決算日	
	12月31日		12月31日	
	2022	2021	2022	2021
営業活動によるキャッシュフロー	\$ 2,566	\$ 3,205	\$ 9,072	\$ 11,384
投資活動によるキャッシュフロー	(374)	(278)	(2,466)	(3,131)
財務活動によるキャッシュフロー	(1,554)	(1,942)	(6,469)	(8,877)
現金、現金同等物に係る換算差額	75	(9)	(63)	(35)
現金、現金同等物の増減額	713	976	74	(659)
現金、現金同等物の期首残高	4,699	4,362	5,338	5,997
現金、現金同等物の期末残高	\$ 5,412	\$ 5,338	\$ 5,412	\$ 5,338

(単位100万)	3カ月決算日		12カ月決算日	
	12月31日		12月31日	
	2022	2021	2022	2021
営業活動によるキャッシュフロー	\$ 2,566	\$ 3,205	\$ 9,072	\$ 11,384
資本的支出	(181)	(156)	(728)	(579)
純現金収支	\$ 2,386	\$ 3,049	\$ 8,344	\$ 10,805

ギリアド
製品売上の概要
(未監査)

(単位100万)	3カ月決算日 12月31日		12カ月決算日 12月31日	
	2022	2021	2022	2021
HIV				
Biktarvy – 米国	\$ 2,423	\$ 2,123	\$ 8,510	\$ 7,049
Biktarvy – 欧州	295	262	1,103	969
Biktarvy – その他	200	145	777	606
	2,918	2,530	10,390	8,624
Complera / Eviplera – 米国	17	29	74	102
Complera / Eviplera – 欧州	37	38	113	142
Complera / Eviplera – その他	3	2	13	14
	58	69	200	258
Descovy – 米国	479	403	1,631	1,397
Descovy – 欧州	26	36	118	164
Descovy – その他	31	34	123	139
	537	473	1,872	1,700
Genvoya – 米国	543	634	1,983	2,267
Genvoya – 欧州	64	85	284	391
Genvoya – その他	33	37	136	221
	640	756	2,404	2,879
Odefsey – 米国	295	303	1,058	1,076
Odefsey – 欧州	85	104	364	440
Odefsey – その他	11	13	47	52
	392	420	1,469	1,568
Stribild – 米国	20	38	88	132
Stribild – 欧州	7	10	29	43
Stribild – その他	3	2	10	14
	29	50	127	189
Truvada – 米国	37	46	113	314
Truvada – 欧州	3	4	15	22
Truvada – その他	5	11	18	35
	45	61	147	371
分配収益 – Symtuza ⁽¹⁾ – 米国	97	94	348	355
分配収益 – Symtuza ⁽¹⁾ – 欧州	42	40	168	165
分配収益 – Symtuza ⁽¹⁾ – その他	3	3	14	11
	142	137	530	531

ギリアド
製品売上の概要 – (続き)
(未監査)

(単位100万)	3カ月決算日 12月31日		12カ月決算日 12月31日	
	2022	2021	2022	2021
HIV (続き)				
その他の抗HIV薬 ⁽²⁾ – 米国	4	26	15	136
その他の抗HIV薬 ⁽²⁾ – 欧州	5	11	24	30
その他の抗HIV薬 ⁽²⁾ – その他	3	5	17	29
	12	42	57	195
抗HIV薬合計 – 米国	3,914	3,696	13,820	12,828
抗HIV薬合計 – 欧州	566	590	2,219	2,366
抗HIV薬合計 – その他	293	252	1,155	1,121
	4,772	4,538	17,194	16,315
Veklury				
Veklury – 米国	395	877	1,575	3,640
Veklury – 欧州	142	334	702	1,095
Veklury – その他	462	146	1,628	830
	1,000	1,357	3,905	5,565
HCV				
Ledipasvir / Sofosbuvir ⁽³⁾ – 米国	19	21	46	84
Ledipasvir / Sofosbuvir ⁽³⁾ – 欧州	4	7	17	31
Ledipasvir / Sofosbuvir ⁽³⁾ – その他	8	21	51	97
	31	49	115	212
Sofosbuvir / Velpatasvir ⁽⁴⁾ – 米国	214	166	844	815
Sofosbuvir / Velpatasvir ⁽⁴⁾ – 欧州	67	82	355	316
Sofosbuvir / Velpatasvir ⁽⁴⁾ – その他	87	59	331	331
	369	307	1,530	1,462
その他のHCV薬 ⁽⁵⁾ – 米国	27	22	115	119
その他のHCV薬 ⁽⁵⁾ – 欧州	9	10	40	74
その他のHCV薬 ⁽⁵⁾ – その他	3	5	10	14
	39	37	166	207
HCV薬合計 – 米国	260	209	1,005	1,018
HCV薬合計 – 欧州	80	99	413	421
HCV薬合計 – その他	98	85	392	442
	439	393	1,810	1,881
HBV/HDV薬				
Vemlidy – 米国	123	118	429	384
Vemlidy – 欧州	8	9	35	34
Vemlidy – その他	89	98	379	396
	220	225	842	814

ギリアド
製品売上の概要 – (続き)
(未監査)

(単位100万)	3カ月決算日 12月31日		12カ月決算日 12月31日	
	2022	2021	2022	2021
HBV/HDV薬 (続き)				
Viread – 米国	2	3	6	11
Viread – 欧州	6	6	23	28
Viread – その他	14	17	62	72
	22	26	91	111
その他のHBV/HDV薬 ⁽⁶⁾ – 米国	(1)	1	—	2
その他のHBV/HDV薬 ⁽⁶⁾ – 欧州	14	13	55	42
	13	14	55	44
HBV/HDV薬合計 – 米国	124	122	435	397
HBV/HDV薬合計 – 欧州	28	28	112	104
HBV/HDV薬合計 – その他	103	115	441	468
	255	265	988	969
細胞治療薬				
Tecartus – 米国	61	42	221	136
Tecartus – 欧州	19	15	75	40
Tecartus – その他	1	—	3	—
	82	57	299	176
イエスカルタ – 米国	219	106	747	406
イエスカルタ – 欧州	103	65	355	253
イエスカルタ – その他	15	11	57	36
	337	182	1,160	695
細胞治療薬合計 – 米国	281	148	968	542
細胞治療薬合計 – 欧州	122	80	430	293
細胞治療薬合計 – その他	17	11	60	36
	419	239	1,459	871
Trodelvy				
Trodelvy – 米国	146	109	525	370
Trodelvy – 欧州	44	9	143	10
Trodelvy – その他	4	—	12	—
	195	118	680	380

ギリアド
製品売上の概要 – (続き)
(未監査)

(単位100万)	3カ月決算日 12月31日		12カ月決算日 12月31日	
	2022	2021	2022	2021
その他の製品				
AmBisome – 米国	9	7	57	39
AmBisome – 欧州	66	72	258	274
AmBisome – その他	42	41	182	227
	<u>117</u>	<u>120</u>	<u>497</u>	<u>540</u>
Letairis – 米国	60	49	196	206
その他 ⁽⁷⁾ – 米国	44	27	135	136
その他 ⁽⁷⁾ – 欧州	13	47	65	115
その他 ⁽⁷⁾ – その他	18	7	53	30
	<u>75</u>	<u>81</u>	<u>253</u>	<u>281</u>
その他合計 – 米国	113	83	388	381
その他合計 – 欧州	79	119	323	389
その他合計 – その他	61	48	235	257
	<u>252</u>	<u>250</u>	<u>946</u>	<u>1,027</u>
製品売上合計 – 米国	5,234	5,244	18,716	19,176
製品売上合計 – 欧州	1,061	1,259	4,342	4,678
製品売上合計 – その他	1,037	657	3,924	3,154
	<u>\$ 7,333</u>	<u>\$ 7,160</u>	<u>\$ 26,982</u>	<u>\$ 27,008</u>

- (1) ヤンセン・サイエンシズ・アイルランド社が販売する固定用量の多剤混合薬Symtuza (darunavir/C/FTC/TAF) に含まれるcobicistat (C)、emtricitabine (FTC)、tenofovir alafenamide (TAF) からの収益を示しています。
- (2) Atripla、Emtriva、SunlencaおよびTybostが含まれています。
- (3) この金額にはギリアドの別子会社であるAsegua Therapeutics LLCが販売したHarvoniとHarvoniの承認済ジェネリック医薬品の売上が含まれています。
- (4) この金額にはギリアドの別子会社であるAsegua Therapeutics LLCが販売したEpclusaとEpclusaの承認済ジェネリック医薬品の売上が含まれています。
- (5) VoseviとSovaldiが含まれています。
- (6) HepcludexとHepseraが含まれています。
- (7) Cayston、Jyseleca、Ranexa、およびZydeligが含まれています。